

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立長寿医療研究センター運営費		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～		担当課室	国立病院課		課長：片岡佳和	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-5 政策医療を向上・均てん化させる			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立長寿医療研究センターが行う業務(加齢に伴って生ずる心身の変化及びそれ起因する疾患であって高齢者が自立した日常生活を営むために特に治療を必要とするものに係る医療に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等)にかかる経費の一部に充てることにより、同センターの業務の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国の長寿医療の中核的機関として、加齢に伴う疾患に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算		3,459	3,613	3,852	4,193
		繰越し等					
		計		3,459	3,613	3,852	4,193
	執行額		3,459	3,613			
	執行率(%)		100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	研究や技術の開発等について、複数年にわたり継続的に行われる事業においては、単年度ごとに、また定量的な成果目標の設定は、困難である。		成果実績	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	英文論文数 ※活動実績は、歴年による集計		活動実績(当初見込み)	本	-	87	113
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	事業費等	3,852	4,193	臨床研究推進事業に係る経費の増			
	計	3,852	4,193				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国の長寿医療の中核的機関として、加齢に伴う疾患に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	我が国の長寿医療の中核的機関として、加齢に伴う疾患に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、競争性、透明性は確保されている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、競争性、透明性は確保されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	当センターの事業目的を遂行する実効性の高い手段と考えている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	主に研究・開発等に活用しているが、その結果、英文論文を発表するなど、十分、活用されている。
点検結果	事業の目的や必要性等について精査した結果、現段階では、特段問題はない。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	独立行政法人国立長寿医療研究センター運営費については、センターが行う業務にかかる経費の一部に充てるためのものであり、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	引き続き、事業の目的や内容を踏まえながら、経費を精査しつつ、必要な予算の確保に努めるとともに、適正な執行を行ってまいりたい。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

-

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年行政事業レビュー

-

平成23年行政事業レビュー 883

※平成22年度実績を記入

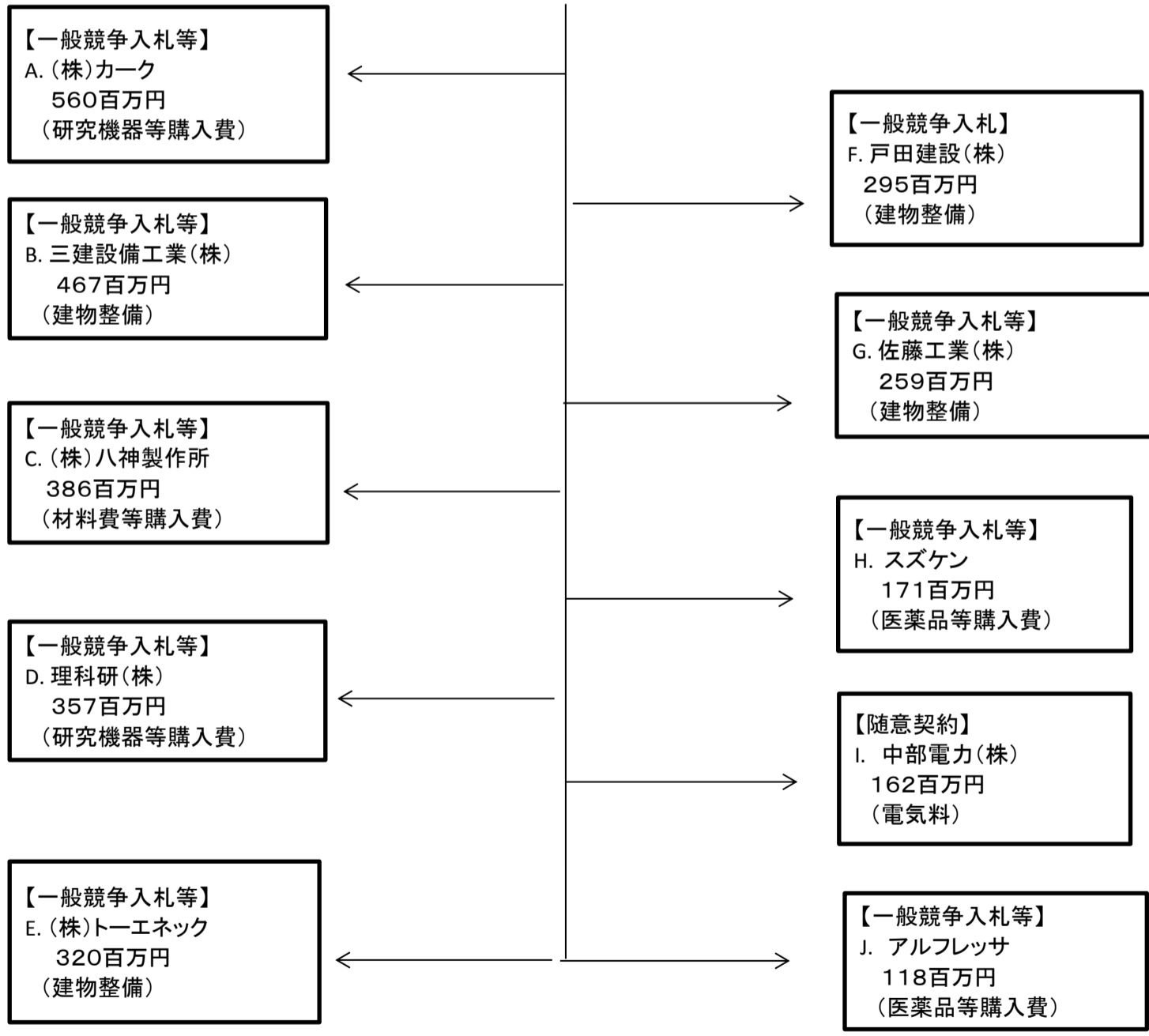
厚生労働省  
3,613百万円

[運営費交付金]

独立行政法人  
国立長寿医療研究センター  
3,613百万円

国立長寿医療研究センター  
の運営に必要な経費の一部  
(不採算医療、臨床研究等)

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



費目	A.(株)カーク		費目	F.戸田建設(株)	
	用途	金額 (百万円)		用途	金額 (百万円)
器機購入	研究器機等の購入費用として	410	建物取得	第2研究棟の建築に係る費用として	295
消耗器具備品費	研究に係る消耗器具備品の購入費用として	69			
材料費	研究に係る材料の購入費用として	44			
医薬品費	研究に係る医薬品の購入費用として	17			
委託費	研究に係る委託費用として	16			
修繕費	研究器機の修繕費として	3			
消耗品費	研究にかかる消耗品の購入費用として	1			
計		560	計		295
B.三建設備工業(株)			G.佐藤工業(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
建物取得	第2研究棟の建築に係る費用として	458	建物取得	新動物実験棟の建築に係る経費	239
修繕費	研究所等の建物修繕にかかる費用として	9	修繕費	研究所等の建物修繕にかかる費用として	20
計		467	計		259
C.(株)八神製作所			H.(株)スズケン		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
材料費	研究・医療に関する材料費の購入費用として	212	医薬品費	研究・医療に関する医薬品の購入費用として	151
器機購入	研究器機等の購入費用として	95	材料費	研究・医療に関する材料費の購入費用として	17
消耗器具備品費	研究・医療に係る消耗器具備品の購入費用として	25	器機購入	研究器機等の購入費用として	3
委託費	研究・医療に係る委託費用として	25			
医薬品費	研究・医療に関する医薬品の購入費用として	12			
修繕費	研究器機等の修繕費として	12			
消耗品費	研究・医療にかかる消耗品の購入費用として	4			
賃借料	研究・医療に係る器機の賃貸借費用として	1			
計		386	計		171
D.理科研(株)			I.中部電力(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
器機購入	研究器機等の購入費用として	267	電気料	研究所等への電気の使用料として	162
材料費	研究に係る材料の購入費用として	58			
医薬品費	研究に係る医薬品の購入費用として	12			
消耗器具備品費	研究に係る消耗器具備品の購入費用として	9			
委託費	研究に係る委託費用として	7			
修繕費	研究器機の修繕費として	3			
消耗品費	研究にかかる消耗品の購入費用として	1			
計		357	計		162

費目・用途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と用途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

E.(株)トーエネック			J.アルフレッサ(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
建物取得	第2研究棟の建築に係る費用として	295	医薬品費	研究・医療に関する医薬品の購入費用として	117
修繕費	研究所等の建物修繕にかかる費用として	15	材料費	研究・医療に関する材料費の購入費用として	1
委託費	研究所等の電気設備法令点検に係る費用として	8			
機器取得	設備機器の設置費用として	2			
計		320	計		118

支出先上位10者リスト  
国立長寿医療研究センター

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)カーク	研究所等の器機等の購入にかかる経費	560		
2	三建設備工業(株)	第2研究棟の建築設備及び既存建物の修繕にかかる経費	467		
3	(株)八神製作所	研究所等の器機等の購入にかかる経費	386		
4	理科研(株)	研究所等の器機等の購入にかかる経費	357		
5	(株)トーエネック	第2研究棟の電気設備及び既存建物等の修繕等にかかる経費	320		
6	戸田建設(株)	第2研究棟の建築にかかる経費	295	5	70.13
7	佐藤工業(株)	新動物棟の建築及び既存建物の修繕にかかる経費	259		
8	(株)スズケン	医薬品費等の購入にかかる経費	171		
9	中部電力(株)	研究所等の電力購入にかかる経費	162	随意契約	—
10	アルフレッサ(株)	医薬品費等の購入にかかる経費	118		

- \*1 自己財源を含む支出額である。(当該予算事業の遂行・支出にあたり交付金以外の財源が補填され、一体的に支出を行っているため。)  
\*2 「入札者数」及び「落札率」については、入札案件(契約案件)が複数含まれている。